

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2012年41週 (10月2週 10/8 ~ 10/14)
2012年9月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

風しん、RSウイルス感染症、腸管出血性大腸菌感染症、マイコプラズマ肺炎
病原体検出情報
定点医療機関コメント
マイコプラズマ肺炎、RSウイルス感染症、カンピロバクター腸炎、感染性胃腸炎 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(19)、腸管出血性大腸菌感染症(5)、レジオネラ症(2)、アメーバ赤痢(2)、後天性免疫不全症候群(7)、風しん(3)

2012年9月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

風しん

愛知県の2012年報告数は、10月17日現在78件(男性62名、女性16名:10歳未満5名、10歳代8名、20歳代22名、30歳代26名、40歳代14名、50歳代1名、60歳代2名)(図1)です。2010年、2011年の総報告数はそれぞれ3件、13件でした。

78名のうち11名は、当初麻しんが疑われPCRにて風疹ウイルスが検出されました。(p2 病原体検出情報参照)

なお、全国の2012年報告数は、10月10日現在1,790件で、全数報告となった2008年以降最多となっています。

平成24年度の麻しん風しんの第2・3・4期予防接種対象者は、第2期:平成18年4月2日~平成19年4月1日に生まれた者、第3期:平成11年4月2日~平成12年4月1日に生まれた者(中学1年生相当)、第4期:平成6年4月2日~平成7年4月1日に生まれた者(高校3年生相当)です。未接種者は早めに接種しましょう。

【参考ページ】

風しんの注意喚起について(豊田市)

http://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1244395_7011.html

市内で風しん患者の報告数が急増しています!

平成20年以降で最大の報告数に (名古屋市)

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000039113.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

RSウイルス感染症(図2)

35週から増加が続き、41週の定点当たり報告数は0.81、40週155人、41週148人(0歳72名、1歳46名、2歳19名、3歳7名、4歳3名、10~14歳1名)で、2歳未満の報告数が全体の80%を占めています。

【参考ページ】<注目すべき感染症> RSウイルス感染症

(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rs-virus-m/rs-virus-idwrc/2662-idwrc-1236.html>

RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

腸管出血性大腸菌感染症(表)

愛知県の2012年報告数は、10月17日現在140件(O157 80件、O26 36件、O111 7件、O103 5件、O91 2件、O121 2件、O145 2件、O165 1件、型不明 5件)で、既に2011年の総報告数を超えています。

【参考ページ】病原大腸菌

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html>

マイコプラズマ肺炎(図3)

愛知県の41週の定点(基幹14定点)当たり報告数は1.79、40週40人、41週25人(0.63倍)です。

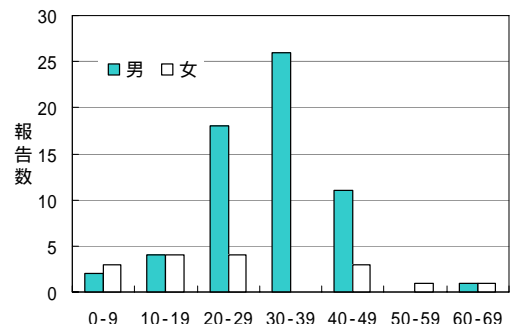


図1 男女別、年齢階層別風しん患者発生状況 (歳)
(愛知県、2012年1~41週診断分、10月17日現在)

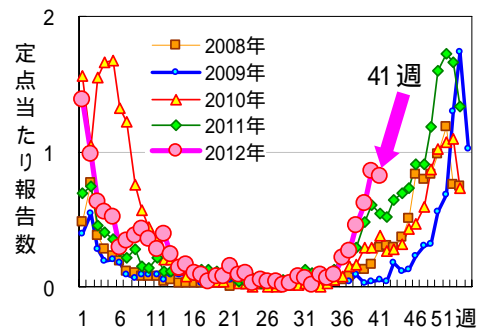


図2 RSウイルス感染症

表 腸管出血性大腸菌感染症

O血清型別報告数及びHUS発症数(愛知県、2012年10月17日現在)

O血清型	2010年	2011年	2012年
O157	190	102	80
O26	33	7	36
O111	3	1	7
O121	0	3	2
O145	2	2	2
その他、不明	11	6	13
患者報告数総計	237	121	140
うちHUS発症者数	10	4	2

*溶血性尿毒症症候群

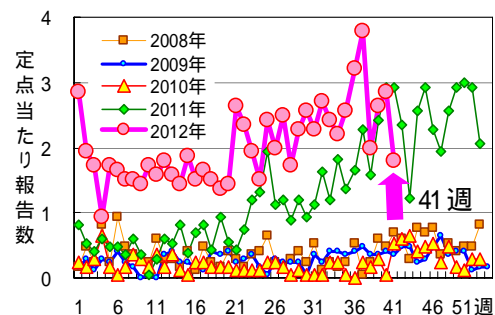


図3 マイコプラズマ肺炎

病原体検出情報

- 平成 24 年疾患別ウイルス検出速報 -

10 月 15 日現在

	感染症胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	インフルエンザ	*麻疹
患者数	224	8	48	6	36	30	17	200	61(43)
PV-1	1								
PV-2	2								
CV-A2			10						
CV-A4	5		26			1			(2)
CV-A8			2						
CV-A10		2		1					
CV-A16		2							
EV-71		1							
CV-B4			1			1			
CV-B5						2			
E-3									(1)
E-6	2					1			
E-7	1					3	1		
HPeV-1	2								1
FluAH3								139	
FluB							1	37	
MeV									20(6)
RUBV									4(7)
RotaA	5								
RotaA G1	24								
RotaA G2	4								
RotaA G3	26								
RotaA G9	8								
NV-G	2								
NV-G	86								
SV	7								
AstV	6								
Ad-1				1					
Ad-2	10			1					
Ad-3	1			1					
Ad-5	3			1					
Ad-41	5								
B19V									4(1)
検査中	10	1		1	7	3			1(1)
陰性	64	2	9		29	19	15	24	31(25)

* 麻疹の()内は病原体定点医療機関以外からの患者数の別掲。

略：ウイルス名（他の略名）

Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、CV：コクサッキーウイルス(Cox.)、E：エコーウイルス、EV-71：エンテロウイルス 71 型、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、HPeV-1：ヒトパレコウイルス 1 型、MeV：麻疹ウイルス、NV：ノロウイルス、PV：ポリオウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、RUBV：風疹ウイルス、SV：サポウイルス

- 関連ページ
- 1) 「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>
 - 2) 「2011/12 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11_12.html
 - 3) 「麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況」
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2012.html
 - 4) 「麻疹ウイルス分離・検出速報」(国立感染症研究所感染症情報センター)
<http://idsc.nih.gov/jp/iasr/measles.html>

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

マイコプラズマ肺炎 3例 7、8、12歳 男 【一宮市 あさのこどもクリニック】	RS ウイルス感染増加しています。 【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
マイコプラズマ感染症 4名	16歳男 病原大腸菌(O148)検出
アデノウイルス感染症 2名 【一宮市 ささい小児科】	34歳女 百日咳 感染性胃腸炎が多い様です。
6歳男 カンピロバクター腸炎	【清須市 丹羽医院】
6歳女 带状疱疹	[9月報 STD 定点コメント]
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】	ヘルペス 型陽性 【弥富市 厚生連海南病院】

尾張東部地区

マイコプラズマ感染症、家族内感染ありました。 その他、溶連菌、流行性耳下腺炎等、散発 【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】	14歳男 マイコプラズマ
RS 感染症が続いています。	12歳男 カンピロバクター(+) 【大府市 まえはらこどもクリニック】
【小牧市 志水こどもクリニック】	RS ウイルス感染症 1名 (8か月、兄姉皆熱と咳がありました。)
RSV 感染症続発中 水痘少々	病原大腸菌O6 1名(1歳)
【春日井市 朝宮こどもクリニック】	病原大腸菌O25 1名(6歳)
RS ウイルス感染症が続いています。 【春日井市 春日井市民病院】	【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 2名 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】	マイコプラズマ肺炎 7歳女 特に目立った流行なし 【岡崎市 花田こどもクリニック】
11歳男 病原性大腸菌O1	黄色ブドウ球菌腸炎 9か月男 【西尾市 山岸クリニック】
マイコプラズマ肺炎 9歳男 6歳男 5歳女 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】	
1歳男 サルモネラO4	
1歳男 病原性大腸菌O1(+)VT(-) 【岡崎市 にいのみ小児科】	

東三河地区

カンピロバクター腸炎 9歳女	マイコプラズマ肺炎 2歳男、5歳女 【豊橋市 マミーローズクリニック】
カンピロバクター腸炎 7歳男	病原性大腸菌(O6) 0歳女
カンピロバクター腸炎 6歳男	病原性大腸菌(O25) 3歳男 【豊川市 ささき小児科】
RS ウイルス感染症が増えてきました。 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】	マイコプラズマ肺炎 3名 【豊川市 総合青山病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2012年10月17日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun110905.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2012年41週報告数			2012年累計(1～41週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	8	3		635	155	164
豊田市				70	15	30
豊橋市	2		1	53	10	15
岡崎市	3	1		54	19	15
一宮	1			103	24	23
瀬戸	1	1		92	19	25
半田				48	15	15
春日井				82	24	10
豊川				61	18	17
津島				65	15	8
西尾				32	8	9
江南	2	1		55	14	15
新城				7	2	3
知多				61	23	19
師勝				28	11	7
衣浦東部	2		1	75	26	15
合計	19	6	2	1,521	398	390

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	名古屋市	22歳	女	- / -	10 / 2	10 / 5	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
2	名古屋市	44歳	女	10 / 4	10 / 6	10 / 10	O157、VT1(+)/VT2(+)
3	一宮	4歳	女	10 / 3	10 / 4	10 / 10	O121、VT2(+)
4	一宮	2歳	女	- / -	10 / 11	10 / 14	O121、VT2(+) 無症状病原体保有者
5	半田	11歳	男	10 / 7	10 / 8	10 / 13	O157、VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	63歳	男	肺炎型	国内
2	名古屋市	67歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	65歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内
2	衣浦東部	63歳	男	腸管アメーバ症	不明	タイ

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	24歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	44歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	35歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
4	名古屋市	22歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
5	名古屋市	44歳	男	AIDS	性的接触	タイ
6	名古屋市	38歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
7	名古屋市	40歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	25歳	女	不明	国内
2	豊田市	18歳	女	不明	国内
3	衣浦東部	34歳	男	不明	国内

9月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲。〕

2011～2012年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2012年9月			2012年 累計 <愛知県全体>	2011年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	74 (14)	71 (14)	145 (28)	1,472 (380)	2,088 (557)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	10 (1)	14 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	17 (2)	9 (1)	26 (3)	134 (49)	121 (33)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)
	バラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	1	2
	A型肝炎	0	0	0	6	4
	チクングニア熱*	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	1	2	3	10	9
	日本紅斑熱	0	0	0	0	3
	ポツリヌス症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	3	6
	レジオネラ症	2	1	3	35	41
五類 (16)	アメーバ赤痢	0	2	2	40	41
	ウイルス性肝炎	1	0	1	10	11
	内訳					
	B型	1	0	1	10	8
	その他	0	0	0	0	3
	急性脳炎	2	0	2	11	12
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	8	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	1	9	14
	後天性免疫不全症候群	1	6	7	98	126
	内訳					
	無症候性キャリア	0	5	5	61	73
	AIDS	1	1	2	33	50
	その他	0	0	0	4	3
	ジアルジア症	0	0	0	1	4
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	1	0
	梅毒	3	1	4	27	44
	内訳					
	無症候	0	1	1	15	19
	早期顕症	3	0	3	10	21
	晩期顕症	0	0	0	2	4
	破傷風	1	0	1	4	7
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	3	0
	風しん	12	5	17	75	13
	麻しん	0	0	0	36	32
	総計	116	98	214	1,997	2,605

*2011年2月からの報告対象疾病

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2012年9月			2012年 累計	2011年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	85	56	141	1,198	1,560
	性器ヘルペスウイルス感染症	25	19	44	523	632
	尖圭コンジローマ	11	15	26	268	344
	淋菌感染症	25	29	54	462	714
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	78	26	104	999	1,411
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	1	3	91	155
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	0	1

*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

